

1歯欠損から1歯残存までを補綴する



A4判・156頁・オールカラー
本体 9,000円+税

Best Denture Design

増補改訂版

著 谷田部 優

パーシャルデンチャーがもっとうまくなる!!

金属床とレジン床設計の関係性やデジタルパーシャルデンチャー等新規項目を収載し、さらに内容充実。

経験則から生まれた60の実践的な基本設計。



2015年の発刊以来、多くの先生方に好評いただいたロングセラー書籍の増補改訂版が装いも新たに登場!

パーシャルデンチャーは、「1歯欠損」から「1歯残存」までの欠損修復に対応でき、歯が存在するほとんどすべての欠損が適応症例となる。

本書では、あまたの欠損分布のなかから、とくに遭遇することの多い60例の設計を掲載。設計のポイントや、それを元にして考えられる設計を箇条書きにし、必要なときに取り出せる辞書のような構成となっている。

基本設計を理解すれば、バリエーションはさらに広がるだろう。

おもな改訂内容は以下のとおり。

- ・金属床義歯とレジン床義歯の関係性をよりわかりやすく
- ・デジタルパーシャルデンチャー、インプラントパーシャルデンチャーの記述を追加
- ・技工依頼に関する記述の大幅な修正
- ・基本設計の項の前に、症例を追加。1つの症例を通して本書の使い方を学べる

CONTENTS

第1章 パーシャルデンチャーの設計の考え方

1. 欠損修復の検査、診断、治療方針の考え方
2. パーシャルデンチャーのリスクアセスメント
3. 設計の考え方 (リスク対応)
4. 「義歯の動揺」の抑制
5. 予防歯学的配慮
6. 破損の防止
7. 感覚・心理的配慮

8. 義歯床の働き
9. 前処置
10. パーシャルデンチャーの咬合の考え方
11. レジン床義歯
12. 技工指示

第2章 設計パターン